

講義名	特別講義（ブライダル・コーディネーションⅠ）		
科目区分	特別研究		
担当教員	石橋 仁美		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 3時限	授業形態	
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

<p>主題と概要</p> <p>ブライダルビジネスに興味があり、将来ブライダル業界で働きたい人の入門編として設定しています。 結婚式・披露宴を中心とするブライダルについて、基礎から学び、資格試験を目指すところまで知識を深めます。 ブライダルコーディネーション論Ⅰから始まり、ブライダルコーディネーション論Ⅱを経てブライダルコーディネーション論Ⅲで完成します。 Ⅲの終了後、公益社団法人日本ブライダル文化振興協会（B I A）認定のアソシエイト・ブライダル・コーディネーターの認定資格が取れます。また2019年より国家試験となりました。ブライダルコーディネーター技能検定3級合格を視野に入れ、必要なスキルを学びます。 ウェディングプランナーとしてだけではなく、社会人として必要な常識や基本マナーを習得することができます。</p>
--

<p>到達目標</p> <p>1. ブライダルに関する用語を身につける。 2. ブライダルの基礎の重要ポイントについて理解できる 3. ブライダルプランナーとしての最低限のスキルを身につける 4. ブライダルに関わる様々な職種を理解し、業界の広がりを理解する 5. ブライダルにおけるホスピタリティーをしっかりと身につけ、活用する</p>
--

<p>提出課題</p> <p>原則として毎回講義の都度、小レポートまたは小テストを行います。 これにより、授業の中で学んだことの理解度・到達度をはかります。</p>
--

<p>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</p> <p>小テストは基本的に次の授業で採点したうえで返却します。 レポートについては、個別に講評し返却します。 試験の際にはそれぞれの小テスト・レポートは持ち込み可能です。、</p>

<p>評価の基準</p> <p>毎回の小テスト評価 3点満点10回実施 30点 レポート 5点×2回 10点 授業態度 10点 試験 50点</p>
--

<p>履修にあたっての注意・助言他</p> <p>ウェディング情報誌（ゼクシィ）を1冊購入して、最新の情報に触れてください。 ・授業の中で発表を求められることがあります。自分の意見を自分の言葉で発表してください。 ・新聞・雑誌・テレビ・インターネット・インスタグラムなどで、ブライダルの話題に興味を持って追いかけてください。 自分から積極的に情報収集をすることをオススメします。</p> <p>授業の際、おしゃべりなど、授業の妨害になると判断した場合、退席していただきます。（欠席扱いとなります。） 講義開始後15分を超えての遅刻者は、欠席扱いとします。</p>
--

<p>教科書</p> <p>ブライダルコーディネーターテキスト、</p>	<p>公益社団法人日本ブライダル文化振興協会</p>	<p>2800円</p>
---	----------------------------	--------------

<p>プリント資料及び参考文献</p> <p>必要に応じてプリントを配布いたします。 ゼクシィを購入してください。（300円 9/23月号）</p>
--

<p>授業計画</p> <p>① ガイダンス ② 結婚（ブライダル）とは ・今人気の結婚式、結婚の定義と最近の状況 ブライダル業界で働くということ ③ブライダルの歴史 ・日本にブライダル・欧米のブライダル：歴史と文化 ④ブライダルビジネス ・ブライダルビジネス Ⅰ（マーケット・ブライダル業種） ⑤ブライダルビジネス ・ブライダルビジネス Ⅱ（ブライダル関連業種、エリア特性） ⑥ブライダルの基礎 Ⅰ ・見合い、婚活、婚約、結納 ⑦ブライダルの基礎 Ⅱ ・挙式のスタイル（キリスト教式・神前式・人前式） 挙式の多様化 ⑧ブライダルの基礎 Ⅲ ・披露宴のスタイル（披露宴、1.5次会、二次会） ・海婚ウェディング、リゾートウェディング・フォトウェディング ⑨ブライダルコーディネーター業務 Ⅰ ・コーディネーター業務 ⑩ブライダルコーディネーター業務 Ⅱ ・新規接客・打合せ接客など、ブライダルセールスの特徴 ⑪ブライダルコーディネーター業務 Ⅲ ・ホスピタリティ営業、プランニング、プレゼンテーション ⑫ブライダルコーディネーター業務 Ⅳ ・新規アフターフォロー、成約業務、規約 ⑬ブライダルコーディネーター業務 Ⅴ ・打合せ業務 成約から当日まで ⑭特別講義 ゲスト講師による 「飯題：ウェディングプランナーの実際」 特別講師について調べる（予習240分） ⑮まとめ ・ブライダルコーディネーターの役割 ・ブライダルコーディネーターに求められるもの</p>
--

<p>授業形態（アクティブ・ラーニング）</p> <p><input type="checkbox"/> ア：PBL（課題解決型学習） <input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） <input type="checkbox"/> ウ：ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> エ：グループワーク <input type="checkbox"/> オ：プレゼンテーション <input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク</p>
--

<p>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</p> <p>各回あらかじめ指定するテキストの範囲を熟読し、要点をまとめ、疑問点を書き出しておくこと。（予習約120分） 授業の中で教科書を読んでもらいます。感じの読みと調べておいてください。 不明な点は調べ、それでもわからないことは授業の中で質問して、疑問点を残さないようにしてください。 基礎的な文言・言葉・表現など、授業の中で習った重要なものは覚えていくこと（復習約120分）</p>
--

<p>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</p> <p>授業の中で、携帯端末で検索してもらうことが多々あります。</p>
--

<p>実務経験の有無及び活用</p> <p>実務経験あり 大学卒業後、銀行の秘書として就職、ビジネスマナーを身に付け、派遣会社のスタッフ教育に携わる 司会業からブライダル業界に入り、ワタベウェディングでプランナーとして、その後神戸メリケンパークオリエンタルホテルのウェディング責任者、ウエスティンホテル大阪にてディレクターをつとめる。実際に担当した婚礼は2000組以上。たくさんの事例から学んだ経験と、変化にあふれる業界とのパイプで、就活に即くに役立つ知識と大学でしか出来ない体験をすることで、授業の中でいかしていく</p>

<p>備考</p> <p>アルバイトを選ぶ際、しっかりと目を見て接客するアルバイトを選ぶと、一層役にたちます。 ブライダルコーディネーションⅡはもちろん、ブライダル事業論を受講予定の学生は受けておくことをお勧めします。</p>
